

令和5年 萩市議会 9月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	1	水 津 和 男	9月11日午前
2	3	岡 崎 隆 志	
3	18	横 山 秀 二	午後
4	13	西 中 忍	
5	4	小 林 富	
6	2	浅 井 朗 太	
7	7	村 谷 幸 治	9月12日午前
8	9	佐々木 公 惠	
9	8	森 田 宗 和	午後
10	12	関 伸 久	
11	14	斉 藤 眞 治	
12	17	宮 内 欣 二	9月13日午前
13	11	森 田 哲 弘	
14	10	美 原 喜 大	午後
15	6	松 浦 誠	
16	5	瀧 口 治 昭	

質問順位	1	質問者	水津和男議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 漁業改革のための継続的な取組み	<p>1. 魚が獲れなければ前に進まない。このためには、放流か資源保護を強力に進めたい。放流する数と放流場所、放流後の保護などについての決め事などが有りますか。</p> <p>2. 萩市水産課では持続可能な水産業の実現を目指したビジョン形成とブランド戦略検討会を立ち上げ推進中です。6月の定例会で漁業の課題問題点の取組みの必要性を問いましたが正に私の意図するものです。現場とも連携し強力に進めてほしい。念のため本気度を聞かせてほしい。</p> <p>3. 今後、人材の確保と育成が重要ですが、その取組みはどのように考えていますか。</p>		
2. 農業改革のための取組みについて	<p>1. 人員減、高齢化などで対応が難しくなっている。制度設計の見直しが必要では。</p>		

質問順位	2	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 周辺地域をどのようにして守るのか	<p>1. 平成17年3月に合併した旧2町4村や三見・大井など、周辺地域をどう守っていくのか、そのビジョンについてお尋ねします。</p> <p>これらの地域は主に第一次産業を基幹産業とした農村・漁村集落によって構成されています。いずれの地域も様々な課題を抱えております。</p> <p>少子高齢化や農林水産業の担い手の問題は言うまでもなく、買い物の問題、移動の問題、その他、地域ごとの問題など、地域の存続に関わる問題が山積しております。</p> <p>市長は市長選挙の際「旧2町4村を何とかせんといかん」ということを何度も仰っていたことを記憶しております。そして市長になられて2年半が経過しようとしています。</p> <p>市長は現状をどのようにとらえているのか、残り1年半、これをどのようにしていくのか、そのビジョンをお尋ねします。</p>		
2. 部活動の地域移行には生徒・保護者のご理解を	<p>1. 7月に「萩市の休日における中学校部活動の地域移行に関する説明会」を4会場で行われました。私も福栄会場で参加させていただきましたが、学校関係者を含む参加者と、説明する教育委員会との間に大きな隔たり・温度差を感じました。</p> <p>出席された保護者の方に話を聞いても、「もっと子どもたちや保護者のことを考えてほしい」とご不満の様子でした。</p> <p>おそらく市内中心部と周辺部では、反応が違ったのではないかと思います。どのようなご意見があったのか、要点のみ簡潔にお答えください。</p> <p>部活動の地域移行は、生徒や保護者、教職員、地域住民のご理解を得られる内容であることが最も重要であると思料します。この休日の地域移行策を策定するにあたり、昨年のアンケート調査以降、生徒や保護者のご意見は聞かれましたでしょうか。小・中学校のPTAとの意見交換などは行われましたでしょうか。</p>		

説明会においては、先行的に取り組む種目について「8月頃からの移行を目指す」とされておりました。現時点での移行実績と今後の見込みを地域別・学年別でお聞きします。

また、今後は他の種目も休日の地域移行を、最終的には全種目で平日を含めた完全移行を目指すことになるものと思われます。今回の休日の地域移行策をベースに進めていく予定としているのか、お尋ねします。

質問順位	3	質問者	横山秀二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩阿武川温泉周辺の利用促進について	<p>1. 萩阿武川温泉周辺の有効利用促進について</p> <p>先般、阿武川温泉のリニューアルも終わり、順調に客足も戻り、大変安心し喜んでいる所であります。</p> <p>但、この温泉エリアの中に旧松本屋食品の跡地が建物と共に残っています。</p> <p>この物件が有効活用出来ないかお訊ねします。</p> <p>まず最初に、この様に市内に於いて不可動資産がどのくらいありますか。又、その処理については、どの様にされていますか。</p> <p>次に可動資産として利用する為のお考えはありますでしょうか。利用促進について前向きな考え方をお聞かせ下さい。</p> <p>次に具体的にお聞きします。</p> <p>不可動資産を可動資産にする為の前段の確認をさせて下さい。この物件は課税留保されていると、認識しています。そこで確認案件として</p> <p>① 課税留保期間と課税留保金額について</p> <p>② 未回収の税金回収の方法等は、どうされていますか。</p> <p>③ 未収に対する考え方、判断はどうされますか。</p> <p>④ 時効はありますか。</p> <p>⑤ 清算人は現在、設置されていますか。</p> <p>⑥ 抵当権者は何人ですか。少なければ買い取りも容易と思われそうですがお考えをお聞きします。</p>		
2. 生成AIの導入と活用について	<p>1. 山口県においても、先日、山陽小野田市が、日本情報通信と業務変革に向け連携強化をしたと発表がありました。周南3市もそれぞれ所見を述べられております。</p> <p>そこで、今回は学校教育を除いたAIの活用について萩市としてのお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>(1) まず導入するとしたならば、自治体として個人情報や機密情報、又、セキュリティ上のルール等、多くの難しい課題があると思われれます。</p> <p>しかし、デメリットだけでなく、メリットもあると思われれます。データ分析、又、災害等の予測分析、あるいは広報、産業振興、ひいては職員の労働負担の軽減も可能となります。</p>		

そこで今後の利用の取組みについてのお考えをお聞かせ頂けたらと思います。

(2) AIを導入するとしたら、職員の皆さんが仕組みを理解する為にも、皆さんへの教育、研修が必要と思われます。

時間、コストもかかると思われませんが、近い将来、必要不可欠な事だと考えます。

どの様にお考えでしょうか、お聞きします。

質問順位	4	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 多くの市民が正しい理解のもと、中核病院の形成を推進することが重要ではないか	<p>1. 私は、萩市の救急医療や地域医療を将来にわたって維持していくためには、中核病院は絶対に必要なものだと確信していますが、市民から間違った情報がもとになったと思われる心配の声を聴くことがあります。</p> <p>しかし、中核病院を整備し将来にわたって維持していくためには、萩保健医療圏の現状や中核病院の役割などについて、多くの市民に正しく理解してもらった上で、一体になって推進していく必要があると考えています。</p> <p>そこで、基本合意を急ぐことは勿論ですが、市民の正しい理解を促し、市民が一体となって中核病院の形成を進めるという意識の醸成を早急に図る必要があると思います。このことについて市長はどのように考えるかお尋ねします。</p>		
2. 明倫学舎の活用方法を再検討してはどうか	<p>1. 現在、明倫学舎4号館には、IT企業のサテライトオフィスなどが進出していますが、スペースがないことから新たな企業進出を断っていると聞いています。</p> <p>企業の進出は、家賃収入や若者の市内定住が見込めること等から、萩市の将来や建物の維持管理に好影響を与えるのではないかと考えています。</p> <p>一方で、企業も藩校明倫館跡地に立つ日本最大級の木造校舎へ興味を持ち、進出を希望しているのではないかと考えています。</p> <p>私は、このように需要がある時だからこそ、市として企業の受け入れが十分できる体制を施設整備を含めて進める必要があると考えています。</p> <p>そこで、これまで何社が進出を希望しているかということを含め、これまでの状況についてお尋ねします。</p> <p>また、施設を改修してでもこのニーズに答える必要があると思いますが、どのように考えるかお尋ねします。</p>		

<p>3. 選挙公約はどうなっているのか</p>	<p>1. 田中市長は、先の市長選挙で数多くの公約を掲げて選挙戦を戦われましたが、市長就任後、すでに2年以上が経過しています。</p> <p>私は、過去の一般質問でも指摘していますが、執行権を持つことになる市長選挙の公約は、重要な市民との約束だと考えていますが、断念を表明したものや部分的に実現したものなどがある一方手つかずのものも多くあります。</p> <p>そこで、これまで手を付けていない市民との約束がどうなっているかお尋ねします。</p> <p>あわせて、景観条例の見直しを検討するとしていますが、景観条例のどこに問題があると思ひ、見直しを検討すると公約に掲げたのかお尋ねするとともに、この検討の進捗がどうなっているかお尋ねします。</p>
--------------------------	--

質問順位	5	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. フレイル予防に向けた取り組みと ICT 活用は	<p>1. フレイルとは健康な状態と要介護状態の中間段階であり「虚弱」「衰弱」などと捉えられますが、加齢による不可逆的なものではなくしかるべき対応によって再び健常な状態に戻るとされています。</p> <p>(1) 身体的フレイルだけでなく精神・心理的フレイルや社会的フレイルなどコロナ禍でひととの接触を避けることや運動機会の減少により社会的孤立などフレイルの進行が懸念されてきましたが、現在、萩市における高齢者のフレイルの状況調査についてお聞きします。</p> <p>(2) フレイルを予防するうえで特に重要視される3つの予防ポイントとして、①運動などの身体活動、②栄養（食事・口腔機能）、③社会参加、などが挙げられますが、萩市のフレイル予防の取り組みについてお聞きします。</p> <p>(3) 人口減少が進む萩市では高齢者人口の減少も始まっています。萩市の人口の約45%を占める高齢者の健康長寿を延伸することは地域社会にとって必要不可欠であると同時に医療・介護などの費用面での削減効果も期待できます。</p> <p>このように非常に効果が期待されることからデータの収集や効率的なフレイル予防の促進に向けて ICT を活用した取り組みが必要と考えますが、現状と今後の展望をお聞きします。</p>		
2. 部活動の地域移行の現状と福栄地域での拠点整備の検討状況は	<p>1. 令和7年度末までの休日部活動の地域移行に向けてこれまで説明会や本定例会でも委託料など予算が上程されています。部活動の地域移行に向けた受け皿団体は今後どのように整備されますか。また、活動中のトラブルや事故などの管理、必要に応じた学校側との連携などの相談体制についてお聞きします。</p> <p>現在は陸上、サッカー、ソフトボールが重点種目として先行して取り組みがされていますが、その他の進捗状況はどうなっていますか。</p> <p>拠点整備のひとつとして福栄地域に集約しているグラウンドの活用や体育館の整備など活用の検討状況がどうなっているかこれまでの提案を踏まえてお聞きします。</p>		

<p>3. 萩市のインバウンドを中心とした観光施策と文化財活用について</p>	<p>1. 新型コロナウイルスの感染法上の類型が引き下げに伴い、日常が戻ってきました。萩市の基幹産業である観光の動向についてゴールデンウィークや夏季における観光客数および宿泊客数の状況について昨年やコロナ以前と比べてどうだったかお聞きします。</p> <p>海外からの訪日外国人観光客（インバウンド）は全国的には増加傾向であるものの、萩市では2017年をピークに減少しています。</p> <p>市内にはここ数年で一棟貸しの宿泊施設が出来ており、それらを利用する外国人宿泊客数が一定数いるようです。このことから交通利便性や多言語表記などのインフラ整備だけが課題ではなく、効果的な広告戦略、訪れたときの満足度を満たす仕掛け、そして、萩市の打ち出す地域資源の磨き上げなどが必要と考えます。今後、インバウンド需要にも対応した観光施策の取り組みをお聞きします。</p> <p>また、萩市文化財保存活用地域計画協議会において文化財保存活用地域計画の策定が議論されています。萩市が掲げる萩まちじゅう博物館構想は街づくりの根幹ですが、多くの史跡を保存・管理するだけでなく、ストーリーと一体となったまとまりのある関連文化財群の観光資源化が必要です。</p> <p>これから他地域との差別化を図りながら地域の伝統文化や食など地域性を観光によって打ち出すことが求められています。現在の進捗と今後どのように取り組むかお聞きします。</p>
---	---

質問順位	6	質問者	浅井朗太議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 中学校の部活動地域移行について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 部活動地域移行に関する説明会の成果について 2. 「合同チーム」が成立する要件について 3. 「教員の働き方改革」として部活動地域移行が果たす効果について 4. 「教員の働き方改革」と「萩市全域で格差なき部活動の仕組み」の実現について 		
2. 高校魅力化支援について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 令和3年6月定例会で答弁頂いた「JRで通学する生徒を対象にした、待ち時間を有効に活用するためのアンケート」の結果について 2. アンケート結果を踏まえた取組について 		
3. 学校給食基金について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 基金積み立ての見込みについて 2. 学校給食の魅力化について 		

質問順位	7	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 大型ごみの収集について	1. 大型ごみの訪問収集についても、収集券による回収にしてはどうですか。		
2. 玉江駅トイレの整備について	1. 通学の高校生や地域の方の利用が多い、玉江駅併設のトイレについて、洋式化できませんか。 2. 市で管理する公衆用トイレのうち、洋式化されていないトイレはいくつありますか。これについて、改修の予定はありますか。		
3. 道路側道の除草対策について	1. 市道の取組みはどうですか。 2. 市の事務ではありませんが、県道・国道において、除草剤が撒かれている区間がありますが、枯れ葉も放置しており、見た目にも決して良いとは言えません。観光都市・萩市への玄関口として、市から管理者へ景観が良くなるよう早急な対応をお願いできませんか。		

質問順位	8	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 性的少数者の理解増進に向けた取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> 1. 性的少数者の理解について本市の現状は 2. 市民への周知、啓発についての取組みは 3. 職員研修や意識啓発や学校教育の取組みは 4. 性的少数者の相談体制についての取組みは 5. パートナーシップ宣誓制度について 		
2. 動物愛護政策について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 野良猫の現状について 2. 地域猫活動について 3. 動物の遺棄、虐待について 4. 犬猫殺処分ゼロへの取組みについて 5. 動物愛護条例の制定について 		

質問順位	9	質問者	森田宗和議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 重要文化財大照院の保存整備事業について	<p>1. 令和5年5月31日(水)重要文化財大聖院保存会総会が開催されました。その中で、保存整備事業について、現状では、境内地が常時湿潤な状態であり地面がぬかるみ、建造物の部材にカビや腐食が発生するなど、文化財の保存上問題が発生している。これは土砂崩れや経年変化により、水路及び庭園の池が埋没し、水分が停滞していること等に原因があると考えられる。当該事業では、こうした状況を改善するため、令和2年度に策定した「史跡萩藩主毛利家墓所保存活用計画」に基づいて排水等の整備計画を設計し、境内地の水が効率よく排出されるよう、水路整備、庭園池の浚渫等、史跡の良好な保全を目的とした環境整備工事を実施することで、史跡としての価値を高めていく事を目標とする。と言われております。市では、令和3年度から水路整備を計画していると聞くが進捗状況をお聞きします。</p> <p>2. 山側に私道がありますが、集中豪雨が降りますとあふれ出し、大照院側に流れ落ちていくと思われます。私道には、アスカーブが、取り付けてありますが、所々壊れておりそこから、雨水が、流れ落ちています。これも境内地の常時湿潤の原因と思われます。</p> <p>まず、山側から整備していくのが順当だと思われますが、お聞きします。</p> <p>3. この私道が、市道に繋がる場所に、住宅が数件あります。集中豪雨が降りますと、この道路が川のようになり、かなりの雨量が集中し、心配で恐怖を覚えるそうです。この写真は、6月の定例会の朝、1時間の雨量が15mmの時、雨が降りやんで撮ったものです。向かって右側の側溝に流れるようにしてありますが、この側溝も溢れるそうです。左側の雑木林にも流れています。住民の方から道路に雨水が溢れないようにと要望が来ておりますが対応をお聞きします。</p>		

<p>2. 萩阿武川温泉改修工事の入札について</p>	<p>1. 3月の定例会で私は、萩阿武川温泉ふれあい会館休業補償事業について質問しました。その際、指定管理人の（有）アクアグリーン川上の専務取締役が横山秀二議員ですが、請負人になるか聞いたところ、請負人にはならないと聞きました。法律には問題はないのですが、市民から疑われることのないよう私たち市議会議員が第三セクターの経営者の一員にならないよう強く訴えましたが、いまだに辞められていないようです。この度、萩阿武川温泉改修工事が完成したと聞きましたが、市民の方から入札、工事に疑問があると連絡があり、調べたところ、入札第一回目は、4社が入札に応じ、川上の（有）横山建設が1位でした。予定価格（21,280,000円）を下回らなかったため、入札2回目を行いました。4社中3社が辞退し、結局21,100,000円で横山建設が落札しました。市議会議員の会社が萩市の工事を請け負うことができますかお聞きします。</p> <p>2. 2回目の入札で、3社が辞退しました。なぜ、辞退したのか理由をお聞かせください。2回目の入札が、1社になった場合、かなり疑問が生じます。中止にすべきではありませんか。</p> <p>3. 私が疑問に思うのは、萩阿武川温泉ふれあい会館の指定管理人（有）アクアグリーン川上の専務取締役が、横山秀二議員、その萩阿武川温泉の改修を萩市に要望したのが（有）アクアグリーン川上そして、落札工事をしたのが、横山建設、市民が疑問に思うのは当然ではないかと思いますが、萩市に横山秀二議員から要望、圧力等ありませんでしたかお聞きします。</p>
-----------------------------	--

質問順位	10	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 町内会活動を円滑に行うための住民情報の開示について	<p>1. 町内会等に代表される住民自治組織の活動に対して、市はどこまで住民情報を提供できるのか訊ねる。</p> <p>萩市において、町内会は、住民自治組織の原点とも言えるものであり、町内会活動が主体性をもって行われることは、相互扶助や防災の観点からも大いに歓迎すべきことである。</p> <p>一方、転入・転出の頻度の高い町内会では、住民動態を十分に捕捉できず、町内会の運営に支障をきたしているとの声を聞く。</p> <p>例えば、市報の配布や町内会会費の集金、そして敬老の日における慶事対応等である。</p> <p>これらの活動を滞りなく行うとすれば、一定の住民情報が必要となってくる。個人情報保護法の適用もあるため、情報提供に制約があることは理解しているが、町内会活動が円滑に行われる程度の情報提供を受けることはできないものか。</p> <p>最後に、住民情報の開示について、市役所内の部・課によって基準が異なり、対応に苦慮しているとの声も聞いている。</p> <p>住民情報を提供する場合の基準については、市役所内で統一したルールがあるのか、それとも部・課の個別判断としているのか、確認する。</p>		
2. 萩市のJアラート対応について	<p>1. 過去に例を見ない頻度で北朝鮮が弾道ミサイルを発射している。なかには、弾道ミサイルが日本の上空を通過する事案もあり、その場合は、日本国政府がJアラートを使用し、緊急情報を日本国民に伝達している。これまでは、北海道や東北地方などを中心にJアラートを使用して注意喚起が促されているが、これは決して対岸の火事ではない。</p> <p>例えば、萩市でJアラートが使用された場合、市民はどういった対応をとるべきか、事前に市報等を通じて十分に周知しておくべきではないか。</p> <p>また、避難場所についても同様である。内閣官房のポータルサイトでは、この避難場所は、コンクリート造りの頑</p>		

	<p>丈な建物の中、または地下が推奨されているが、萩市には木造家屋が多く、身近な場所に必ずしもコンクリート造りの建物があるわけではない。ましてや地下鉄の駅や地下街も存在しない。ついては、地域毎または地区毎に避難場所を設定しておくべきではないか。弾道ミサイルは瞬時に日本に到達する可能性があることから、望むべくは、地域、地区よりは町内単位で避難場所を事前に設定しておくことである。</p> <p>危機管理の観点から、萩市の対応を強く望む。</p>
<p>3. 萩市の観光再生にむけた戦略的取組みについて</p>	<p>1. 先日、萩市が観光庁の補助事業である「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に3年連続して採択されたとのうれしい報告を受けた。</p> <p>この事業の実施主体は、あくまでも萩市観光協会であるが、この萩市観光協会には、萩市の職員も複数名出向している。3年連続しての事業採択に懐疑的な声もあるなか、今回は、一次審査で不採択となったものの、その後、粘り強く民間事業者の取りまとめを行い、採択に導いた関係者の尽力に対し、率直にこれを評価したい。</p> <p>そもそも、この補助事業は、萩市観光協会が取りまとめを行う「地域計画」が採択されなければ、それに紐づく民間事業者は一切の補助が受けられない。今回の採択により、観光事業者の施設等の高付加価値化もさることながら、その経済効果にも俄然注目が集まる。施設等の改修工事に市内の民間事業者が指名されるケースが多いからである。</p> <p>そこで、この点について次の通りお訊ねする。</p> <p>(1) 今回の補助事業の総額と参加事業者数および直接的な経済効果について</p> <p>(2) 今回の補助事業を含めた過去3年の補助事業の総額と参加事業者数および直接的な経済効果について</p> <p>2. 次に、これまでの補助事業を梶（てこ）にどのように「観光地・萩」の再生に取り組むのかをお訊ねする。これまでの補助事業を通じて、民間レベルでは着実に施設等の高付加価値が図れるものと推察している。受け皿は整備されるが、問題は、ここ萩市にどうやって観光客を呼び込むか</p>

、である。その戦略について訊ねる。

新型コロナウイルスの法的な位置づけが変わり、この夏は、これまで以上に観光客がここ萩市を訪れるのではないかと期待する事業者も多かったが、結果として、観光客が少なかった、との声に多く接している。萩市の観光再生はまったなしで、ここからが本当の正念場である。観光産業はすそ野が極めて広く、観光セクターの衰退は、一次産業にも大きな影響を及ぼす。よって、極めて高いレベルの戦略をもってして取り組まなければ、萩市そのものが衰退してしまう。

また、これまで続けてきた観光事業やイベントでも集客力が細っているものは、思い切って廃止し、新たな事業やイベントを投入しなければ、耳目を集めるものにはならない。最大級の危機感をもって、萩市の観光再生にむけて取り組んで欲しい。

質問順位	11	質問者	斉藤真治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 地方財政の確立について	1. 社会保障維持・確保、地域活性化、防災・減災、物価対策など増大する住民への施策に必要な財源の確立について問う。		
2. 保育士の配置基準について	1. 職員配置基準の現状と国の試案を受けての、今後の配置基準の改善対策について問う。		
3. 小郡・萩間地域高規格道路(絵堂萩道路)整備要望について	1. 小郡・萩道路整備促進要望行動(令和5年7月13日要望行動)の成果について問う。		

質問順位	1 2	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 車いすのスマートフットレストの普及について	<p>1. 日本リハビリテーション工学協会の福祉機器コンテスト2023年優秀賞をもらったスマートフットレストは、車椅子利用者、介護者の負担を大きく軽減する機器として非常に有効なものです。この機器を普及してはいかがでしょうか。</p> <p>障がい者、高齢者への日常生活用具給付・貸与のメニューに組み込むこと、医療現場での車椅子に装着すること、市役所・総合事務所・支所・出張所に配置されている車椅子に装着することなど、利用者の利便を向上させ負担軽減を図る取り組みはできないか。</p> <p>2. 福祉用具を扱う事業者への周知はできないか。</p>		
2. マイナンバーカードと健康保険証の連携について	<p>1. 萩市のマイナンバーカードと健康保険証の連携はどこまで進んだか。問題は生じていないか。各保険組合に確認はできるか。</p> <p>2. 市内医療機関での対応は万全か。</p> <p>3. 対応できず廃業するという市内医療機関で事例はあるか。</p> <p>4. 萩市としてマイナンバーカードと健康保険証の連携についてどのような見解を持つか。国に対し、連携中止もしくは延期を求める考えはないか。</p>		
3. JR利用促進とJR駅の活用、地域連携について	<p>1. 萩市内にあるJR駅の活用をどう図るか。</p> <p>2. JR駅と地域連携の取組みをどう進めるか。</p> <p>3. JR駅のニックネームの検討はどうなったか。</p>		
4. 県道弥富小川線、津和野須佐線の早期復旧について	<p>1. 県道弥富小川線、津和野須佐線は、地域の生活道としてなくてはなりません。7月の大雨で、落石が生じ、通行止めになっています。地元から早期復旧の要望が強くあがっています。県に対し、一日も早い復旧を求める必要があります。萩市はどのように対応していますか。</p>		

質問順位	13	質問者	森田哲弘 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 令和5年7月9日の大雨により、萩市東部地域の生活道路及びジオパーク観光関連道路の土砂崩れによる通行止めと市味川の氾濫について	<p>1. 萩市東部地域の生活道路でもありジオパーク特に小川地区の龍鱗郷、鈴野川地区の猿谷の滝、弥富地区の豊が淵と近くの小川地区開作の登山と観光の足摺山に繋がる県道124号線・306号線の7月9日に起きた東部地域の大雨により土砂崩れによる通行止めについて質問します。</p> <p>2. ジオパーク観光道路に伴い小川地区開作足摺山の観光客の増加により安全な登山道の維持管理について質問します。</p> <p>3. 田万川地域にある市味川の氾濫による影響について質問します。</p>		
2. 道の駅たまがわの公衆トイレ改修後の管理体制について	<p>1. この9月より国土交通省の負担による、道の駅たまがわの公衆トイレが改修されました。今後の管理体制のあり方について質問します。</p>		
3. 市民の要望書に対しての取り扱い及び市長発言について	<p>1. (株)たまがわとT社との事業承継について「この度の事業承継につきまして萩市や私に苦情が寄せられたことはありません。」と市長発言されたことについて質問します。</p>		

質問順位	14	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. アフターコロナ対策（地域活性化への取組について）	<p data-bbox="549 365 991 398">1. 萩市の活性化への計画提言</p> <p data-bbox="549 409 1410 495">(1) 萩市における記念年に対する取組（計画）は出来ているか。</p> <p data-bbox="603 506 1410 636">毎年のように記念年（生誕・没後・新規等々）があるが、それと合わせ、色々な取組を組み合わせ切れ目ない計画になっているか。</p> <p data-bbox="628 647 1031 680">例えば、次の取組は如何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="603 696 1410 875">・2028年フク食解禁140周年記念事業への取組みを考えてはどうか。それと合わせ、市内の日本酒の利用促進はどうか。（下関市との共催は出来ないか。）（フクは下関の異名があるが、実態は萩から送っている。） <li data-bbox="603 887 1254 920">・大河ドラマへの取組（働きかけ）は如何か。 <li data-bbox="603 931 1410 1016">・ディスティネーションキャンペーンへの取組（働きかけ）はないか。 <li data-bbox="603 1028 1094 1061">・市民号はどう取り扱っているか。 <li data-bbox="603 1072 1126 1106">・地域間の探訪ツアー復活はどうか。 		

質問順位	15	質問者	松浦 誠 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 離島における建築廃材等の運搬経費について	1. 離島から本土へ建築廃材等を運搬する台船の助成金について		
2. 見島宇津診療所の整備について	1. 外で診察を待っておられる患者さんの為の待合所の整備について		
3. 子育て支援について	1. 多胎児支援について		

質問順位	16	質問者	瀧口治昭 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 企業誘致について	<p>1. 人口定住の問題の中で、仕事は不可欠の要件であると思いますが、その職場を提供する企業の誘致は現在どの様になっているのでしょうか。</p> <p>2. 新規の進出企業への誘致も大切ですが、今ある企業への事業拡大に対する用地の確保も大切であると思います。現在、課題は克服できていますか。</p>		
2. 移住者への職場の斡旋について	<p>1. 萩市も人口定住への対策として、移住への色々な補助事業や施策を展開され、努力を重ねておられますが、やはり、働く場が無くては移住から定住にはつながらないと思います。現状を含め、萩市の対応をお聞きします。</p>		
3. 予算の執行順位について	<p>1. 新年度予算が承認されてから執行されるまで、事業によってはその年度末ぎりぎりの執行でもよい事業もあるのですが、修理や施設整備、物品の購入など、なるべく早い執行が望まれることもあるのではないかと思います。1年間を通じての予算執行の順位どの様な判断で決定されていますか、お聞きします。</p>		